



～就職決定に向けて～

■選考試験までの状況

7月1日の求人票解禁を皮切りに、本格的に就職へ向けて生徒たちは動き始めました。それまでは、企業のホームページやパンフレットを参考に、企業概要や実際の仕事内容などを調べてきました。そして今年度の求人票が出ると、その中にある最新情報を探り、他社との比較などを通して、より一層深く企業内容を調べ、自分が志望する企業の選択に励んでいました。

★

就職志望の生徒は、志望する企業をある程度絞りこみ、1学期末の保護者面談(3者面談)に臨みました。それから、企業への「応募前見学」を経て、さらに絞り込んでいきました。

3者(本人・保護者・ホーム担任)による詰めの話し合いを通し、最終的にそれぞれの生徒の受験企業を調整しました。それをもとに8月後半に校内推薦会議が行われ、受験先が決定されていきました。

★

受験先が決定した生徒たちは、夏休みの終わりから、就職選考解禁日(9月16日)まで、受験に向けての準備に取り組みました。選考に課されるペーパーテストや適性検査に関する補習、志望動機を含む履歴書の書き方指導、過去の受験報告書の検索、などいろいろな視点からのサポートをしてきました。またロングホームや放課後の時間を使って挨拶などの所作指導も継続的に行われ、生徒職員一丸となって対策を練ってきました。

8月の終わりには、本校教員による「校内模擬面接」、また9月の初めには、外部団体の協力を得て、「外部講師による模擬面接」を実施しました。外部講師には、多くの企業の方々や

PTAの方々、など各種多様なメンバーを要請いたしました。志望動機やこれからやりたいことなど、面接内容に絞った形で模擬面接をしていただきました。その中でいただいたアドバイスは本番の面接に活かしてもらうように、生徒たちにフィードバックされています。

■今年の求人状況

各企業からの求人票は、ほとんどが7月末までに学校に届きます。7月末までの今年の求人状況は以下の通りです。

地域	求人件数	求人数
県内	約450件	約650人
県外	約400件	約500人

(本校就職希望3年生 184名)

この件数は、昨年のコロナウイルス流行時の件数よりは多いですが、やはりコロナ禍以前の件数にはまだまだ及ばず、H28年度レベルの件数にしか届いておりません。しかしながら、それでも本校における全体の求人倍率はおおむね5倍以上となっており、ありがたいことに生徒にとって選択肢はいくつかありました。ただ、パイの数は決まっております。企業全体の願いをかなえることはできませんし、生徒個々の希望が必ずしも通るとも限りません。また企業側の要望がうまくマッチングするとも限りません。

■今年度の選考試験のはじまり

そうした中でも9月16日木曜日、今年度の就職選考試験が始まりました。選考日解禁前には、人権意識の啓発、小松工業生としてのプライド、小松工業OBからの期待、など、これから社会人になっていく3年生に対してのアドバイスを本校の先生方からいただきました。そのことを胸に、しっかりと選考試験に臨んでもらいたいです。頑張り！